

教材紹介カード		教科等	保健体育
教材名	水泳競技のタッピングバー	部門	視覚障害教育部門
ねらい	視覚障害のあるスイマーに壁が近づいている合図を送り、安全にターンやゴールをするための道具。		
写真			
指導内容 ・ 指導方法	視覚障害者の水泳のターンやゴールの時に欠かせないタッピングバーです。初心者は短め、上級者は長めのものを使用している。壁が近づいてきたときに、合図を出し安全にターンやゴールをするための道具。		
特徴 ・ 留意点	先端がEVA素材で柔らかいため、安全である。 合図をする場所は基本的にルールはないが、基本的には背泳ぎは額、それ以外は頭頂部または肩あたりをたたく。 また「2ストローク前に合図を出す」「壁から1 m前で合図を出す」など練習しながら決めていく。		
材料・ 製作上 のポイント	<p>市販での販売は無いみたいで、ほとんどが手作りのものだそうです。釣り竿やモップの柄などを使用していて、軽さとしなりがあるので釣り竿を使用しているところが多いそうです。先端には、発泡スチロール素材のものがいいそうで、水泳で使うプルブイを削ってつけています。</p> <div style="text-align: center;">  <p>水泳指導で使うプルブイ</p> </div>		